

書道文化概論Ⅱ

科目ナンバリング JLN-102
選択必修 2単位

中村 健太郎

1. 授業の概要(ねらい)

日本の書道文化について理解を深めることを目的とする。日本の伝統文化の中には、様々な形で書道文化の影響を指摘することができる。本科目では、さまざまな書道文化を学びながら、文字や書について、毛筆を使用した臨書(模写)技術の修得を目指す。秋期は、社会で必要とされるさまざまな毛筆技術について学び、書道文化と毛筆技術の向上に取り組む。なお、履修にあたっては、前期開講の「書道文化概論Ⅰ」を履修していることが望ましい。

2. 授業の到達目標

- ・授業で取り上げた書道文化の事例を説明できる。
- ・歴史上の書道文化と、現代の書道文化の共通点・相違点を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

・レポートの提出(4割)と、授業時間内の小テストおよび、授業への積極的な参加状況等を合計した平常点(6割)で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

芸術新聞社 『決定版 日本書道史』

柏書房 『書の総合事典』

5. 準備学修の内容

・美術館、博物館などの常設展や特別展を利用して、実物鑑賞の機会を多く持つように心掛ける。また、参考文献や授業時間内に配布するプリントを活用して、予習と復習を行う。

6. その他履修上の注意事項

- ・第1回目の授業のはじめに、本科目の到達目標やレポート課題、成績判定方法について説明を実施する。履修希望者は、全員必ず出席すること。
- ・レポート作成のため、授業時間外に博物館・美術館での見学が必須となる。
- ・書道用具が必要となる。用具がない履修希望者には、第1回目の授業で必要となる用具の説明を行う。
- ・書道の実習に不都合な服装はさけること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】 | 授業の目的と内容、授業の進め方、評価の仕方など |
| 【第2回】 | 実用書道について |
| 【第3回】 | 手紙の書式(はがき) |
| 【第4回】 | 手紙の書式(手紙) |
| 【第5回】 | 手紙の書式(宛名) |
| 【第6回】 | 手紙の書式(応用・実作) |
| 【第7回】 | 氏名の自署(楷書) |
| 【第8回】 | 氏名の自署(行書) |
| 【第9回】 | 氏名の自署(大字) |
| 【第10回】 | 氏名の自署(小字) |
| 【第11回】 | 実用書道実習(掲示物・看板) |
| 【第12回】 | 実用書道実習(商標デザイン) |
| 【第13回】 | 実用書道実習(熨斗紙) |
| 【第14回】 | 実用書道実習(金封) |
| 【第15回】 | 作品の清書・課題の提出 |